

第65号議案、平成31年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定について、賛成の立場で討論する。

国民健康保険特別会計の歳入決算額は6億2,369万9千円、歳出決算額は5億9,874万9千円で、差し引き2億1,562万円の黒字となっています。基金積立金が2億1,559万9千円で合わせると4億1,717万9千円の黒字となります。

詳細質疑を行いました。概ね妥当な財政状況であり、不認定とすべき事案はなく、認定することに賛成します。

その上で改善または拡充すべきことを指摘します。

①一人当たり医療費の増加傾向の分析に基づく的確な対応策の実施

一人当たり医療費は4万2,155円で伸び率は2.5%でした。増加傾向に歯止めはかかっていません。

その要因は、高齢化、医療の高度化、高額薬剤の保険適用、70歳以上の割合の増加と説明がありました。糖尿病、高血圧、脳血管疾患、心疾患、がんなど予防可能な高額医療の課題があります。

生活習慣病予防の取り組みを今まで以上に拡充するための具体的対策を講じることを求めます。

②若い世代からの健診チャンス

2019年度の特定健診の受診者は2,946人で受診率見込みは33%。また30歳から39歳対象の健診の受診者は86人で受診率見込みは10%程度。

電話勧奨等で担当職員は大変努力していただいています。

しかしこうした状況が続く下では、先に述べた生活習慣病予防対策で大きな効果を上げることは難しくなります。

妊婦検診では受診率は100%、10年前と比べて血圧が高い割合が増加傾向であることがわかりました。年齢は、10代から40代までいて、68%は35歳以下であることもわかりました。妊娠を契機に検診を受け、自分の体の状況を知るという状況です。

そこで、**小学校4、5年生と中学2年生での子ども健診、そして16歳から29歳までの若者健診の機会が必要**だと考えます。妊娠時、赤ちゃん、小中学生、高校生、若者、成人と切れ目のない健診・保健指導の環境を古賀市でも早急に実現するよう積極的に検討するよう指摘します。

③詳細な制度設計が必要等監査の指摘について

今回監査は4億円の黒字という実態のもとで詳細な制度設計が必要と指摘しています。**保険料が適切な設定になっているのか、被保険者に過大な負担を強いていないか**しっかり検討することを求めます。また、出納整理期間中の基金積立については不適切だという指摘もされています。財政課と協議し適切な処理がされるよう求めます。

以上、評価、拡充、改善が2021年度、令和3年度予算に着実に反映されることを求め賛成討論とします。